

# 報道配布資料

平成23年(2011年)4月6日

所属名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連絡先
山口県立大学	学長 えさと けんすけ 江里 健輔	附属地域共生センター所長 あかぼね きよし 赤羽 潔	附属地域共生センター専任研究員 にしやま かよこ 西山 香代子	電話 083-928-3495
発表内容の 関係地域	[全県]、岩国、柳井、下松、光、周南、[山口]、防府、宇部、美祢、 山陽小野田、下関、長門、萩、首都圏			

## 1 件名

平成23年度 山口県立大学公開授業「医学」「地域学」「環境問題」「基礎セミナーⅠ」  
「環境理論特別講義Ⅰ」「生命と生活の質特論」の参加者募集について

## 2 内容

No	件名	概要	①期間 ②会場 ③受講料 ④申込方法・締切日
1	「医学」	患者自身が医療を選択し決定する、いわゆる「自己決定権の確立」に役立つものとなっています。 そこで、人間をトータルとして捉え、多方面から医学・医療を解説するように、本プログラムは組み立てられています。	①平成23年4月11日(月) ～7月25日(月) 全15回 ②山口県立大学本館(3階) A32階段教室 ③各回500円 (10回以上、5,000円) ④平成23年4月7日(木)
2	「地域学」	山口県の自然・政治・経済・文化などの特性把握と発展可能性を理解します。 また、地域特性を踏まえ、地域を創っていく、地域を良くしていく能力を身につけることを目指します。	①平成23年4月14日(木) ～(講義日未定) 全11回 ※第3回・第5回・第6回は、山口東京理科大学を拠点にTV会議システムを使って授業を行います。 ②山口県立大学4号館 D15教室 ③各回500円 (第1回は無料) ④平成23年4月11日(月)
3	「環境問題」	「住生活と環境」をひとつの柱に、現場の声に耳を傾けていきます。マスコミに載らない情報に触れることで、様々なマインドコントロールを越えて、自分の生活そのものを再点検しながら深く考え、足もとから暮らしと環境を変えていくきっかけをつかみます。	①平成23年4月15日(金) ～7月29日(金) 全15回 ②山口県立大学6号館 F204教室 ③各回500円 (10回以上、5,000円) ④平成23年4月11日(月)
4	「基礎セミナーⅠ」 (部分公開)	本授業では3つの「共生社会」をテーマとして、情報のインプット、アウトプットや情報の処理・管理に必要な基礎的なアカデミックスキルズを習得します。	①平成23年5月13日(金)・ 5月27日(金)・6月10日 (金) ②山口県立大学講堂 (桜園会館) ③各回500円 ④平成23年5月9日(月)

No	件名	概要	①期間 ②会場 ③受講料 ④申込方法・締切日
5	「環境理論特別講義 I」	世界で活躍する講師陣を招いて、持続可能な社会の構築に向けた最先端の政策やまちづくりについて考えます。	①平成23年5月14日（土） ・5月28日（土）・7月9日（土） 全3回 ②山口県立大学 6号館 F 204教室 ③各回500円 ④平成23年5月9日（月）
6	「生命と生活の質特論」	それぞれの担当講師が、心理的・社会的な健康と生きがいの観点から、生・老・病・死の意味、脳死・安楽死と人格概念、終末期ケアをめぐる問題、病者・障害者の当事者人権について考えたり、世界の人々の暮らしとの対比で、「今・ここ」を問いかけます。自由なディスカッションやワークショップ形式の学びあいの中で認識を深めていきます。（大学院の授業です。）	①平成23年5月14日（土） ～7月2日（土） 全15回 ②山口県立大学4号館 D14教室 ③各回500円 （10回以上、5,000円） ④平成23年4月27日（水）

### 3 申込方法

(1) はがき・電話・FAXで、郵便番号・住所・氏名（フリガナ）・電話番号を、下記の申し込み先までお知らせください。

(2) 講座開始前までに、受講通知を各自へお知らせします。

### 4 問合せ先・申込先

山口県立大学附属地域共生センター 「生涯学習部門」  
〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1 TEL/FAX (083)928-3495





## 山口県立大学 2011 (平成23) 年度 前期公開授業

医学・医療の進歩は著しく、それに従事する人はもとより受ける人も医療の水準を知ることが大切です。また、「命」は医師のものではなく患者のもので、この授業は、患者自身が医療を選択し決定する、いわゆる「自己決定権の確立」に役立つものとなっています。そこで、人間をトータルとして捉え、多方面から医学・医療を解説するように、本プログラムは組み立てられています。

# 医学

開講期間

2011年4月11日(月)～7月25日(月)

※第14回は月曜日ではないのでご注意ください。

時間

各回17時50分～19時20分(90分間)

会場

山口県立大学 本館(3階) A32 階段教室

受講料

各回500円(10回以上5,000円)



	月 日	テーマ	内 容	講 師
1	4/11 (月)	日本人に多い癌 ～胃がん	現在、日本人の3人に1人が癌で死亡する時代です。政府は様々な癌対策を進めていますが、「癌にならないため、たとえ癌になっても克服できるよう」、癌の基礎知識をもっておくことが大切です。わが国に多い癌のひとつである胃がんについて概説します。	山口大学大学院医学系研究科 消化器外科学 准教授 榎 忠彦
2	4/18 (月)	寝たきりを招く 運動器不安定症	運動器不安定症は、高齢化を基盤に運動機能低下を来たす症候群で、補講能力やバランス能力の低下が転倒リスクや閉じこもりリスクを亢進させ、健康寿命を大きく短縮させます。運動器不安定症の病態とその対策について述べます。	山口大学大学院医学系研究科 システム制御医学 教授 田口敏彦
3	4/25 (月)	医療における 薬剤師の介入	薬剤の開発・進歩による医学・医療の貢献およびそれがもたらす副作用、薬害について考えます。医療における薬剤師の役割および日本の薬剤師の現状について述べます。	山口大学大学院医学系研究科 臨床薬理学 教授(附属病院薬剤部長) 古川裕之
4	5/9 (月)	生活習慣病 (1) 脳を守る	長年の生活習慣により脳への危険が迫り、やがて脳卒中や認知症となって症状を出します。脳を守る自然のメカニズム、病気による破壊、医療が行う方法について解説します。	山口県立総合医療センター 副院長 脳神経外科学 山下哲男
5	5/16 (月)	医学倫理 ～何故必要か	命を救うためには、第三者には容認できない事象を取扱うことが医療人に許されています。そのため高い倫理が求められます。一般倫理と異なる医学倫理の特殊性を学びます。	山口大学大学院医学系研究科 医療環境学 教授 谷田憲俊
6	5/23 (月)	臓器移植	臓器移植に関する医学的側面と社会的側面を解説します。脳死移植、心停止後移植、生体移植の違いを述べ、日本における臓器移植の現状を解説します。	山口大学大学院医学系研究科 泌尿器科学 准教授 土田昌弘
7	5/30 (月)	婦人疾患 ～HPVと 子宮頸がん	子宮頸がんの発症にHPV(ヒトパピローマウイルス)が関係していることが明らかになり、またHPVに対するワクチンが開発されました。これからの子宮頸がんの治療戦略について考えます。	山口県立総合医療センター 外科系主任部長・産婦人科部長 上田一之

8	6/6 (月)	生活習慣病 (2) 循環器病	生活の欧米化に伴い、様々な循環器疾患、つまり心臓・血管系の病気が増加しています。主な循環器疾患の背景、病態、治療、予防等を概説します。	山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学 講師 大草知子
9	6/13 (月)	生活習慣病 (3) 糖尿病	糖尿病は食生活の欧米化による現代病です。多くの糖尿病は生活習慣をコントロールすることで予防できます。糖尿病よりも糖尿病で生じる合併症が致命となります。	山口県立総合医療センター 代謝主任部長 井上 康
10	6/20 (月)	終末期医療	ガン末期治療を消化器外科疾患の立場から解説します。末期医療の現状と効果および患者の幸せとの連関について考えます。抗癌剤の効果についても説明します。	地方独立行政法人 山口県立病院機構 副理事長 中安 清
11	6/27 (月)	救急医学 ～ここまで知って 欲しい	救急医療では幅広い患者、重症患者に対応する高度の医学知識が要求されます。救急医療の社会的意義、各種疾病や病態の把握、重要臓器の機能維持法や保護法を学びます。	地方独立行政法人 山口県立病院機構 理事長 山口県立総合医療センター 院長 前川剛志
12	7/4 (月)	ストレスと鬱病	本邦での自殺者は年間3万人以上です。この中うつ病、ストレスを有した人がかなり存在します。ストレスとは何か？うつ病とは何か？両者の関係について述べます。	財団医療法人水の木会 理事長 水木 泰
13	7/11 (月)	再生医療	生命は限られています。永遠に生き長らえることは人の夢です。細胞を再生できればこの夢が叶います。再生医療の現状を紹介し、社会にもたらす影響を検討します。	山口大学大学院医学系研究科 器官病態外科学 教授 濱野公一
14	7/19 (火)	乳がん ～早期診断・治療	本邦では生活の欧米化で乳がん患者が急増したが、早期診断・治療により予後は必ずしも悪くありません。近年の診断法、治療法および乳がん発生の危険因子について解説します。	下関厚生病院乳腺・甲状腺外科 長島由紀子
15	7/25 (月)	癒しの医療	医療との係わりが長くなるにつれ、機械的な医療が疎まれ心のこもった医療を求めます。癒しの医療に足りないもの、配慮すべきことについて体験を踏まえて述べます。	山口県議会議員 藤井律子

▼部分受講も可能です。

▼全回受講された方には、山口県立大学公開授業受講修了証が授与されます。

#### 申込方法

はがき・電話・FAXで氏名・年齢・住所・電話番号を下記の申し込み先までお知らせください。

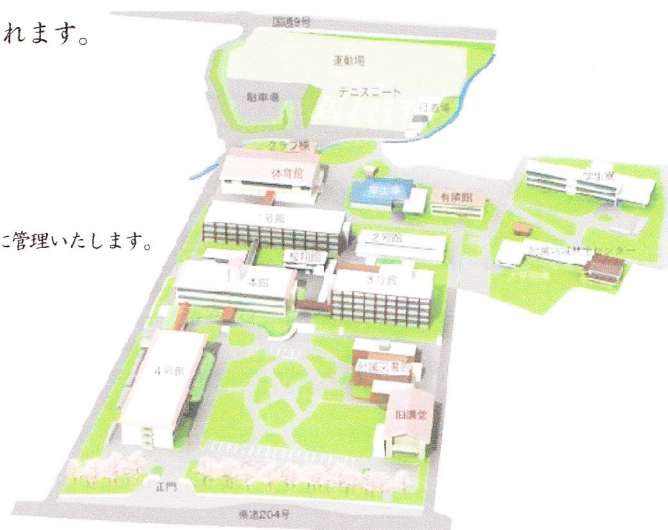
※お申し込みの際に取得した個人情報については、個人情報保護の観点から厳重に管理いたします。

#### 締 切

4月7日(木) ※部分受講については随時受け付けます。

#### 受講通知

授業開始日までに、詳細なご案内を送付いたします。



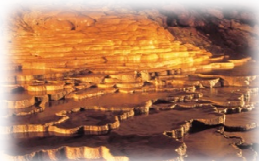
[問い合わせ・申し込み先] 〒753-8502 山口市桜島 3-2-1

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門 TEL・FAX 083-928-3495



山口県立大学 2011 (平成 23) 年度  
前期公開授業

# 地域学



山口県の自然・政治・経済・文化などの特性把握と発展可能性を理解します。また、地域特性を踏まえ、地域を創っていく、地域を良くしていく能力を身につけることを目指します。

※全回受講された方には「山口県立大学公開授業受講修了証」が授与されます。

〈第1回〉4月14日(木) 山口県立大学 学長特別補佐 三好 猛・教授 松尾 洋  
**はじめに**

〈第2回〉4月21日(木) 鳥取大学 准教授 柳原邦光  
**地域学概論について**

〈第3回〉4月28日(木) 秋吉台科学博物館 名誉館長 庫本 正  
**山口の自然** ※遠隔授業

〈第4回〉5月12日(木) 山口県立大学 准教授 伊藤幸司  
**山口の歴史(1) 一大内時代**

〈第5回〉5月19日(木) 山口東京理科大学 教授 稲垣詠一  
**工学から見た山口** ※遠隔授業

〈第6回〉5月26日(木) 山口経済研究所 宗近孝憲  
**山口の経済と産業** ※遠隔授業

〈第7回〉6月2日(木) 山口県立大学 教授 井竿富雄  
**山口の政治**

〈第8回〉6月9日(木) 山口県立大学 講師 加藤禎行  
**山口の文化(1) 山口の近・現代文学**

〈第9回〉6月16日(木) 萩市役所総務部 次長 山本章三  
**山口の文化(2) 地域での映画上映**

〈第10回〉6月23日(木) 周防大島郷土大学 新山玄雄  
**郷土大学と周防大島の地域づくり**

〈第11回〉講義日未定 大島商船高等専門学校 田口由香  
**山口の歴史(2) 明治維新**

※第3回・第5回・第6回は、山口東京理科大学を拠点にTV会議システムを使って授業を行います。予めご了承ください。

## 開講期間

2011年4月14日～6月23日の毎週木曜  
※5月5日(木)はこどもの日のため、開講せず。

## 時間

各回 12時50分～14時20分(90分間)

## 会場

山口県立大学 4号館 D15教室

## 応募期限

4月11日(月) 必着  
※部分受講については、随時受け付けます。

## 受講料

各回 500円(第1回は無料)

受講申し込みについては裏面をご覧ください。



[問い合わせ・申し込み先]

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門  
〒753-8502 山口市桜島 3-2-1  
電話・FAX : 083-928-3495

山口県立大学 2011（平成23）年度 前期公開授業

## 地 域 学

※ボールペン又はペンで記入してください。

※氏名（ふりがな）・住所・電話番号・FAX番号は、必ずご記入ください。

ふりがな 氏 名			男性・女性（○をつける）
住 所	〒		
電 話 番 号	自宅（            ）            — 携帯（            ）            — ※日中連絡を取りやすい電話番号をご記入ください。		
FAX番号	（            ）            — ※FAXで申し込みをされる方は必ずご記入ください。		
これまでに本学の公開授業を受講されたことがありますか？	1. ある（            ）	2. 今回がはじめて	
今回の公開授業をどのような機会や媒体でお知りになりましたか？	1. 本学からの案内 3. 新聞 5. チラシ（設置場所            ） 6. その他（            ）	2. 本学のホームページ 4. 広告	

お申し込みは、この用紙に記入のうえ、FAXまたは郵送ください。はがき、電話でも、受け付けています。授業開始日までに、受講案内を送付させていただきます。

〒753-8502 山口市桜島 3-2-1 山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門  
電話・FAX：083-928-3495（平日 午前8時40分～午後5時10分）

## 個人情報のお取り扱いについて

受講申込時にお預かりした上記の個人情報は、当講座の実施・運営ならびに次回の講座や本学主催の講演会等のご案内に使わせていただき、他の目的には使用いたしません。なお個人情報は、紙および電子データで保存し、第三者への無断提供、紛失、遺漏、改竄等が無いよう、適切に管理いたします。



# 環境問題

「環境問題は専門家にまかせておくしかない地球レベルの問題だ」という“常識”が生んだ原発事故。身の回りの物事を根本から問い直し、身近な環境問題を足元から解決するための知恵と経験に学びます。”身の回りで何か問題が起こったら・・・と、想像できる感性を育て、自らの暮らしを守るために行動に移す勇気を培いましょう。本授業では、「住生活と環境」をひとつの柱に、現場の声に耳を傾けていきます。

マスコミには載らない情報に触れることで、さまざまなマインドコントロールを越えて、自分の生活そのものを再点検しながら深く考え、足下から暮らしと環境を変えていくきっかけをつかみましょう。

【講師】国際文化学部 教授 安溪遊地

開講期間	2011年4月15日～7月29日 毎週金曜 [全15回] ※4月29日は昭和の日のため、開講せず。
時間	各回 10時20分～11時50分
会場	山口県立大学 6号館 F204
受講料	各回 500円(10回以上 5,000円)
応募期限	2011年4月11日(月)必着
申込方法	はがき・電話・FAX で、 <u>氏名・住所・電話番号</u> を下記の申し込み先までお知らせください。 山口県立大学附属地域共生センター 〒753-8502 山口市桜島 3-2-1 電話・FAX : 083-928-3495
受講通知	授業開始までに、詳細なご案内を送付します。

- 第1回  
4月  
15日
- 第2回  
4月  
22日
- 第3回  
5月  
6日
- 第4回  
5月  
13日
- 第5回  
5月  
20日
- 第6回  
5月  
27日
- 第7回  
6月  
3日

- 出過ぎる杭は打たれない  
-この講義の進め方
- まゆつぼの技術  
-マスメディアのマインドコントロールに負けないために  
(県立大教授・新谷明雲さんを迎えて)
- 岩国からのメッセージ 基地被害から生活を守る  
(元岩国市長・井原勝介さんを迎えて)
- 想定されていた地震・津波・原発災害 天災から人災へ
- グローバルからローカルへ 「半農半X」の楽しみを生きる(田布施町・大下充徳さんを迎えて)
- あったか村においてよ-人の健康・地域の健康・地球の健康を守る(阿武町の農家民宿・白松博之さんを迎えて)
- 幸せのトイレづくり タイで見つけた未来型社会(村のトイレ屋さん・安藤公門さんを迎えて)

- 第8回  
6月  
10日
- 第9回  
6月  
17日
- 第10回  
6月  
24日
- 第11回  
7月  
1日
- 第12回  
7月  
8日
- 第13回  
7月  
15日
- 第14回  
7月  
22日
- 第15回  
7月  
29日

- スペイン・ナバラの農家民宿と自然エネルギー 20年で70%自給をなしとげた事例
- 知る・愛する・守る アフリカの森と屋久島の森を守る人々との交流(山口市・安溪貴子さんを迎えて)
- 瀬戸内海がよみがえる日 上関の奇跡の海を守る(上関町・高島美登里さんを迎えて)
- 大規模開発につける薬はあるか  
-御用学者・市民科学者・生活者の役割
- 安心安全の暮らしのために(1) 本当にこれを食べてもいいのですか?
- 安心安全の暮らしのために(2) いま何が一番の危機なのか
- いま足下からできること  
-小さな森に県産材で建てた価格破壊住宅で
- だまされないために  
-知るは難く行うは易し(孫文)



山口県立大学 2011（平成23）年度前期公開授業

# 基礎セミナーⅠ

（部分公開）

大学は、多角的なものの見方ができ、問題を自ら発見し、解決することのできる教養人を養成します。そのためには、得られた知識を相互交流によって醸成させ、実践へ結びつけることが欠かせません。

そこで、本授業では、3つの「共生社会」をテーマとして、情報のインプット、アウトプットや情報の処理・管理に必要な基礎的なアカデミックスキルズを習得します。

※全回受講された方には「山口県立大学公開授業受講修了証」が授与されます。

第1回 5月13日(金)

## 地球環境と共生

東京都市大学 教授 中原秀樹

地球規模で起こっている環境破壊。この状況が起こすさまざまな国際問題を理解しながら、自分たちにできることはなにかを考える。

第2回 5月27日(金)

## 多文化社会と共生

NPO法人「環境市民」 代表理事 根本育生

市民の力がまちを変える、市民の力で自治体が変わる。環境先進国ドイツのまちづくりの紹介や日本の環境首都コンテストの実績から、自分の暮らすまちづくりについて考える。

第3回 6月10日(金)

## 人間社会と共生

神奈川県立保健福祉大学 准教授 川村隆彦

演者の経験をもとに、他者と共に生きるためには人としてどのようなまなざしを持てばよいのか、その価値や倫理について概説する。差別や偏見のない福祉社会を構築するために人と人が共に生きることや支えあうことの意味について理解し、共生社会を構築する一員として何ができるかを考察する。

開講期日 5月13日(金)・5月27日(金)・6月10日(金)

時間 各回 16時10分～17時40分

会場 山口県立大学講堂(桜園会館)

受講料 各回 500円

申込方法 はがき・電話・FAXで、氏名・住所・電話番号を下記の申し込み先までお知らせください。  
山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門  
〒753-8502 山口市桜島3-2-1 電話・FAX 083-928-3495

締切 平成23年5月9日(月)必着







# 環境理論 特別講義 I

世界で活躍する講師陣を招いて、持続可能な社会の構築に向けた最先端の政策やまちづくりについて考えます。

●開講期日 5月14日（土）・5月28日（土）・7月9日（土）

●時間 各回9時00分～12時00分  
（講義90分・ディスカッション90分）

●会場 山口県立大学 6号館 F204教室

●受講料 各回500円

●申込方法 はがき・電話・FAXで、氏名・住所・電話番号を下記の申し込み先までお知らせください。

山口県立大学附属地域共生センター

〒753-8502 山口市桜島 3-2-1 電話・FAX 083-928-3495

●締切 平成23年5月9日（月）必着

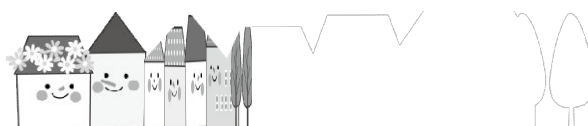


第1回 5月14日（土）	<p><b>持続可能な社会の構築と消費者の責任</b></p> <p>持続可能な社会の構築へ向けて消費者がなすべき役割と責任について</p>	<p>東京都市大学 教授 中原秀樹</p>
第2回 5月28日（土）	<p><b>人間の幸福を目指したまちづくり</b></p> <p>福祉や環境の視点から捉えた人類の幸福を目指したまちづくりとはどんなまち、どんな暮らしなのか？世界の最先端の環境都市の取り組みについて</p>	<p>NPO法人「環境市民」 代表理事 牧本育生</p>
第3回 7月9日（土）	<p><b>物質社会とリスク</b></p> <p>ものとい情報があふれかえっている現代社会において、環境と健康の本当の問題は何か？</p>	<p>製品評価基盤技術機構 理事長 安井 至</p>

※全回受講された方には「山口県立大学公開授業受講修了証」が授与されます。

[問い合わせ・申し込み先]

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門  
〒753-8502 山口市桜島 3-2-1  
電話・FAX 083-928-3495





# 生命と 生活の Quality of Life 質特論

それぞれの担当講師が、心理的・社会的な健康と生きがいの観点から、生・老・病・死の意味、脳死・安楽死と人格概念、終末期ケアをめぐる問題、病者・障害者の当事者人権について考えたり、世界の人々の暮らしとの対比で、「今・ここ」を問いかけます。自由なディスカッションやワークショップ形式の学びあいの中で認識を深めていきます（大学院の授業です）。

■開講期間/平成23(2011)年5月14日(土)～7月2日(土)

■会場/山口県立大学 4号館 D14教室

■受講料/各回500円(10回以上5,000円)

■申込方法/はがき・電話・FAXで氏名・住所・電話番号を下記の申し込み先までお知らせください。

山口県立大学附属地域共生センター

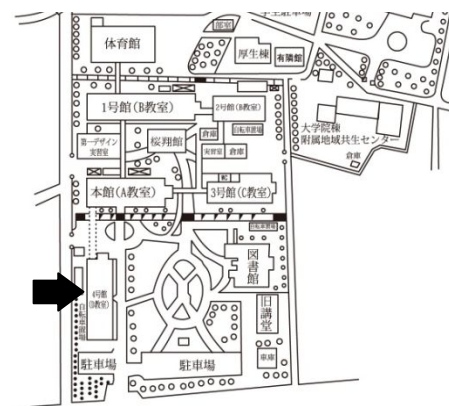
〒753-8502 山口市桜島3-2-1 電話・FAX : 083-928-3495

※授業開始日までに詳細なご案内を送付します。

■締切/平成23(2011)年4月27日(水)

	月 日	時 間	講義内容	講 師
1	5月14日 (土)	9:00～ 10:30	<b>QOLとは何か？</b> <b>大学院で学ぶとはどういうことか？</b> Life:いのち、生命、生活、人生…。なぜ、いま地域貢献型の山口県立大学大学院でQuality of lifeを学ぶのか。	山口県立大学 学長 江里健輔 担当講師全員
2		10:40～ 12:10	<b>医療におけるQOL-QOLの評価方法(1)</b> 保健医療分野におけるQOL評価の意義と方法について。	健康福祉学研究科 教授 吉村耕一
3	5月28日 (土)	9:00～ 10:30	<b>〈生〉をめぐる人権のゆらぎ</b> 胎児の人権、障害者の生きる権利と女性の産む権利について。	健康福祉学研究科 教授 志村哲郎
4		10:40～ 12:10	<b>〈死〉をめぐる人権のゆらぎ</b> 尊厳死や自殺補助の問題を通じて死の自己決定権を考察する。	
5		13:00～ 14:30	<b>医療におけるQOL-QOLの評価方法(2)</b> 具体的なQOL測定ツールを用いたQOL評価の実際について。	健康福祉学研究科 教授 吉村耕一
6	6月11日 (土)	9:00～ 10:30	<b>〈生〉〈老〉〈障〉〈病〉〈死〉とライフ・コース</b> 現代社会で生起する生老障病死と現代人のライフ・コースの関係を考察する。	健康福祉学研究科 教授 志村哲郎

7	6月11日 (土)	10:40~ 12:10	<b>〈生〉〈老〉〈障〉〈病〉〈死〉とライフ・コース</b> 現代社会で生起する生老障病死と 現代人のライフ・コースの関係を考察する。	健康福祉学研究科 教授 志村哲郎
8		13:00~ 14:30	<b>医療におけるQOL</b> -QOL向上のための医療技術開発 患者のQOL向上を目指した先進医療技術の現状と 具体例について。	健康福祉学研究科 教授 吉村耕一
9	6月18日 (土)	9:00~ 10:30	<b>〈人のいのち〉の値段と〈お金〉のこと</b> -アフリカの森に暮らして考えたこと アフリカと聞いたら、どんなことをイメージするだろうか。 「人間は環境を破壊して生きるしかない」というのは 大変な思いこみだと気づいた経験を語る。	国際文化学研究科 教授 安溪遊地
10		10:40~ 12:10	<b>世界の100歳人</b> -フィールドワークでともに暮らした経験から ソウル大学の名物教授・全 京秀(チョン・ギョンス)教授を 迎えて、韓国・沖縄・サルディニアなど世界の100歳人研究のフ ィールドワークの最先端と韓国のハンセン病患者が隔離された 島での10日間の経験を報告していただく。日本語による講義。	
11	6月25日 (土)	9:00~ 10:30	<b>ただいま大規模人体実験中</b> -日本人の〈地球2個分の暮らし〉 環境問題のほとんどは人権問題でもあることを公害経験は 教えている。さらに、人間以外の生き物にも 〈自然の権利〉があるという考えを紹介する。	
12		10:40~ 12:10	<b>QOLワークショップ</b> -自然にふれる・いのちを感じる 山口環境教育学会の安溪貴子氏の指導によって、 「いのち」を感じる授業のワークショップを実施。 天気がよければ、キャンパス内の「夢の森」に向きます。	
13	7月2日 (土)	9:00~ 10:30	<b>グループディスカッション(分科会)</b> 3室にわかれてグループディスカッション (1)〈生〉〈老〉〈障〉〈病〉〈死〉と現代人の生活 (2)世界の中での日本人の暮らしと生命観 (3)QOL評価をどう活かすか?	
14		10:40~ 12:10	<b>分科会の報告と質疑応答</b> それぞれの部屋での討論の内容を10分程度にまとめて、 全体会で学生代表が紹介し、質疑応答する。	国際文化学研究科 教授 安溪遊地
15		13:00~ 14:30	<b>まとめ</b> 全員参加によるまとめと今後の展望	健康福祉学研究科 教授 吉村耕一



■ 問い合わせ・申し込み先 / 山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

電話・FAX : 083-928-3495